

感染症に関する次の記述ア～オのうちには妥当なものが二つある。それらはどれか。

- ア. インフルエンザウイルスには、ヒトだけでなくブタやトリなどにも感染するものがある。ウイルスが種を超えて感染すると新型インフルエンザウイルスが出現することがあり、これは世界的な流行を引き起こす可能性が高い。
- イ. HIV（ヒト免疫不全ウイルス）の感染者数はアメリカ合衆国や西ヨーロッパ諸国など先進国で多い。アジアやアフリカなどの途上国では感染者数は比較的少ない。
- ウ. 結核は、多くの国で第二次世界大戦後に感染率、死亡率が大幅に低下したが、世界的に見て依然として重大な感染症である。日本でも新規患者や死者は毎年出ている。
- エ. 風しんは、妊婦が感染した場合、胎児に重篤な影響を及ぼす。日本では予防接種が実施されてきたことにより、20世紀末を最後に新規患者は報告されていない。
- オ. エボラ出血熱は、南アメリカ大陸で初めて確認された感染症である。致死率が高く、2010年代に、世界的に見ても過去最大の流行がブラジルやコロンビアなどで発生し、多くの死者が出た。

- 1. ア, ウ
- 2. ア, エ
- 3. イ, ウ
- 4. イ, オ
- 5. エ, オ